

〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	最大取付数		本 体 の 取 付 方 法							オプション	
			ト レ ー ド イ ン	ア ド オ ン	キ ット レ ス	取付キット使用			備 考	1D	2D		
						型 番	主な付属品	希望小売価格 (税別)		46 サイズ	46 サイズ		
H5/5~H13/7	GF-DC1 GF-DC2 E-DC1 E-DC2	全車種	2D		×	KK-H30D <sup>Ⓚ</sup>		P	6,500円	注1	◎	◎	
			2D		×	KJ-H07D <sup>㉔</sup>		P 注5	5,500円	注1,6	◎	◎	
			2D		×	KJ-H02D II <sup>㉔</sup>		P	5,500円	注1	◎	◎	

(注1) 取付ける際は、リアブラケットに取付ネジを先に仮止めしておいて車両側に挿入し、車両の取付用フレーム部に差し込むようにセットして、取付ネジをボックスレンチでダッシュの下側から締付けます（ダッシュの裏側のスペースが狭くて手が入らないため、裏側から取付ネジをねじ込むことができません）。

(注5) KJ-H07D<sup>㉔</sup>には、「標準取付（通常取付）」用化粧パネルに加え、「14mm前出し取付」用化粧パネルが同梱されています。

(注6) KJ-H07D<sup>㉔</sup>は、「標準取付（通常取付）」に加え、「14mm前出し取付」にも対応したキットで、取付けるカーステレオの配線・端子等が車両側に当たる場合は、14mm前に出して、同梱の「14mm前出し取付用化粧パネル」を使用し、（パネル加工せずに）取付けることが可能です。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに 化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源（ACC、常時、イルミネーション）			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… ホンダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	FMダイバーシティ アンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウエイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33（2,000円、税別）を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) …純正ステアリングリモコン付車でも、グレードや仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II <sup>Ⓚ</sup> （12,000円、税別）がシート取付ボルト部に取付可能です（車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II <sup>Ⓚ</sup> 付属のロッドが使用できない場合もあります）。 (注) …KW-27V II <sup>Ⓚ</sup> は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ						ユニットタイプ			サテライト		
			TS-V173S	TS-C1730S C1730	TS-F1740S F1740	TS-C1630S C1630	TS-F1640S F1640	TS-F1040S F1040						TS-X480G X380	TS-X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700
3クーペ	ドア		× <sup>②④</sup>	× <sup>②④</sup>	× <sup>②④</sup>	◎ <sup>②②</sup>	◎ <sup>②②</sup>			②					◎ <sup>①</sup>	×	×	×				
	Rサイド		×	×	×	◎ <sup>①②③</sup>	◎ <sup>①②③</sup>							×	◎ <sup>①②</sup>	×						
	Rシェルフ										◎	◎	○									

注記  
① 純正位置への取付けで、付属のグリルは使用せずに、ユニットのみを純正ブラケットに取付ける。  
② 純正スピーカー付車の場合に可。  
③ 取付ける際はドアトリムを外さずに、純正グリルのみを外して行います（グリルは下側を先に外します）。但し、カスタムフィットスピーカーの場合は、トリムの穴を通す時にはスピーカーの端子を横方向にし、下側を先に入れるようにして挿入します（トリム取付リテーナー部を外しておく、さらに挿入しやすくなります）。  
④ ネジ穴位置が少しずれる。スピーカーの取付部への挿入が多少やりにくい（後方上部を先に入れるようにし、トリムを手前に引っ張って、隙間をあけておいて下方を入れるようにします）。  
⑤ 使用可能なカースピーカー取付キットはありません（カースピーカー取付キット UD-K107は生産が終了しました）。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	☒	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	☒	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
⊞	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
⊕	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可（別売の「スパーサー」使用）
●	取付可（鉄板加工が必要）	▲	取付可（別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要）
○	取付可（スピーカーに付属のスパーサー使用）	□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）
●	取付可（スピーカーに付属のスパーサー使用で、鉄板加工が必要）	×	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。